

5月23日(日)弥生コミセンで書面表決方式の弥生まちづくり協議会総会が開催され、表決権35名中34名の表決者の賛成により全議案可決・成立したことを報告します。(総会議案書及び表決書、閲覧希望会員は事務局に申し出てください)



令和2年度はご存知のとおりコロナ禍で、各構成団体の活動は延期や縮小や中止に追い込まれました。我が協議会においても痛恨を極める一年でした。

1月の有志による『とんど』は何とか実施出来ましたが、他のイベントや集いは再三の緊急事態宣言等に阻まれました。おそらく、今年度もコロナと縁は切れないでしょう。それでも、構成団体や地域の皆様の安心・安全を第一に、できる限りの活動を続けるためには、今まで以上のご支援ご協力を頂きたく、よろしくお祈いします。

末尾ながら、今年こそ弥生のまちに和やかな当たり前の日々が再来することを願いつつ皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。 弥生まちづくり協議会 会長 福井 裕

(令和3年度 弥生まちづくり協議会 役員)

	役職	氏名	主な役割	主な所属団体と役職
1	会長	福井 裕		老人クラブ・弥生会 副会長
2	副会長	山口 誠一	会長補佐	弥生が丘自治会 副会長(人権協議会)
3	副会長	山口 義武	福祉担当	弥生が丘校区ふれあい活動推進協議会 代表
4	事務長	北村 盛寛		老人クラブ・弥生会 会長
5	会計	笹倉 延理	ボランティア コーディネーター	弥生が丘自治会 会長
6	書記	川口 裕一	事務長補佐	老人クラブ・弥生会 会計
7	幹事	森 俊三	会計補佐	弥生が丘自治会 理事(防災部)
8	幹事	西中 孝夫	広報担当	弥生が丘自治会 理事(生活環境部)
9	幹事	白土 壽章	広報補佐	民生委員・児童委員 副代表
10	幹事	北場 博夫	ボランティア担当	弥生が丘自治会(ほっと841)
11	幹事	中嶋貴久夫	ボランティア補佐	弥生が丘自治会 地区長代表
12	幹事	小野江里奈		弥生小学校PTA会長
13	幹事	新才三保子		弥生小学校PTA副会長



～明るく住みよい、安心・安全のまちづくりを！～

～共に支えあうことの大切さ～

弥生が丘地区も皆さんが住み始めて約30年経過しました。かつては、活気に溢れ成熟してきたこのまちも2017（平成29年）までは県下で最も高齢化率が低かった三田市が、短期間のうちに急速に転入が進んだ経緯もあって高齢化が進んでいるように、弥生が丘地区においてもかなり早いスピードで高齢化が進んでおり、三田市平均（2021年3月末現在26.1%）よりも高くなっています。

2014年3月末 人口 4613人（65歳以上 815人 高齢化率17.6%）
（14歳以下 451人 9.8%）



2021年3月末 人口 3961人（65歳以上1282人 高齢化率 32.4%）
（14歳以下 304人 7.7%）



地域での人と人とのつながりも弱まりつつある現在、防犯、防災、子どもや高齢者の見守りや地域内での交流、多種多様なニーズ課題の対応などに対して知恵を出し合い、自治会、老人クラブ、民生委員・児童委員、PTA など様々な団体が、連携し役割分担することがますます大切になりますが、担い手不足、参加意識が希薄になってきている等の課題が年々大きくなっています。

「お互いに助け合い、自分たちが出来ることを出来る範囲で行う、また、して欲しい事を遠慮なく頼める地域社会」を目指すためには、**自治会や老人クラブなど様々な団体の活動に参加し、多くの人と知り合い、自ら出来ることを協力することや新たな担い手として参加してもらいながら共に支え合うことが必要ではないでしょうか。**

弥生まちづくり協議会 副会長 山口誠一

～災害に備え『自助、近助（近所）、共助』の心構えを！～

災害、特に地震はいつ発生するか分かりません。日頃から災害に対する備えをする事が大切です。防災の基本は「自助、近助、共助、公助」です。その中で一番大事なことは「自助」、自分の命、安全は自分で守る事です。

地震対策として家具の転倒防止などの対策が必要です。激しい揺れは、家具や家電が凶器になることがあります。

そして「近助、共助」も大切です。地域には身体の不自由な方もおられます。いざという時には、近所、地域の助け合いが命を守ることに繋がります。日頃から近所で挨拶を交わし、声をかけあうことで親近感が生まれ、助け合いにつながります。

自治会防災部は災害に備え、防災意識の向上の為、各種取り組みをしています。例えば毎年、地域総合防災訓練を実施しています。昨年はコロナの影響で規模を縮小して行ないましたが、例年の訓練内容は「避難訓練」「無事カードの掲示による安否確認」「救急救命訓練」「消火訓練」「煙道体験」「担架搬送訓練」「防災グッズの展示・説明」等です。

また、昨年は「自助の考え」を基本に「食料備蓄品パンフレット」を作成し全戸配布しました。今後も防災意識向上の為、各種事業を行っていく予定です。今年度の防災訓練は11月20日（土）に予定しています。皆様のご協力とご参加をよろしくお願いいたします。

弥生まちづくり協議会・幹事（自治会防災部長） 森 俊三



構成団体からのお知らせと、活動報告

老人クラブ・弥生会

～『やよい夢ひろば』の整備～

5月26日（水）梅雨の晴れ間、老人クラブ・弥生会の会員約20名で『やよい夢ひろば』の整備に汗を流しました。

毎週3日、弥生会グランドゴルフ部がホームグランドとして利用しております。定期的に芝面や法面の管理をして、最高の芝面の状態が維持できるよう努めています。



弥生会 会長 北村盛寛



民生委員・児童委員からのお知らせ



民生委員・児童委員は、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、約200世帯あたりに1人が活動しています。民生委員・児童委員には守秘義務が課せられていますので、生活上の心配事や困りごとがありましたら、なんでも気軽にご相談ください。

【弥生地区における民生委員・児童委員の活動】

- ・福祉や生活上の相談・支援活動（2～4ヵ月に1回、高齢者所帯・独居の方への訪問）
- ・75歳以上の高齢者を対象とした要援護高齢者調査（令和3年度の調査期間：9～11月）
- ・社会福祉制度やそのサービスについての内容や情報の提供
- ・関連行政機関、施設、団体等に連絡し、必要な福祉サービスが得られる為のパイプ役

【活動の為に必要な会議・研修】

- ・毎月、弥生校区の民生委員・児童委員による情報交換会議。
- ・世情把握のため、概ね年6回フラワータウン地区の民生委員・児童委員に対する研修会、更に、年2回三田市の民生委員・児童委員に対する研修会。

民生委員・児童委員弥生が丘校区代表 森山 哲郎

ふれあい活動推進協議会

弥生が丘校区ふれあい活動推進協議会は発足して約15年になります。

自治会、民生委員・児童委員、主任児童委員、民生・児童協力委員、老人クラブ、健康推進員等で構成されており、活動内容は高齢者や小、中学生の見守りや居場所づくりが主なる活動になります。そのために「ふれあいのつどい」や「ふれあいカフェ」「ランチサロン」などを開催して地域の方々とふれあいに力を入れています。

今年もコロナ禍の影響で制限がかかりますが、工夫して出来ることを一つでも多くお伝えしたいと思っています。

ふれあい活動推進協議会代表 山口義武

ハートやよい

弥生地区にお住いの高齢者、障がい者の皆さんの生活支援に関する活動を行っています。

主な活動は燃やすごみ出し、それ以外のごみ出し、庭木の剪定、草引き、買い物介助、パソコン支援等で昨年の依頼件数は240件でした。

困りごとがありましたら気軽にコミセンに連絡をいただければ対応させていただきます

弥生が丘コミセン(079-562-0434)

ハートやよい代表 山口義武



こども110番の家

子ども達をターゲットにした犯罪や不審人物から子ども達の安全を守る取り組みの一環として『こども110番の家』を設けられています。

もしもの場合の、子ども達の安全確保を目的としています。

現在、弥生が丘地域内で個人の家庭30数戸と、企業2社から協力を頂いています。

「こども110番の家」の主旨・目的に賛同・協力いただける家庭は、随時受付をいたします。

問合せ先、協力申し込みは「**子ども見守り連絡協議会事務局(弥生小学校・562-5175)**」

又は、**弥生が丘コミュニティセンター(562-0434)**までお願いいたします。



弥生まち協に対し、ご意見・ご提案をお待ちしています

投稿は「コミセン宛メール送信 (E-メール: Ya54278@xa3.so-net.ne.jp)」

「コミセン宛 Fax (564-0434)」「コミセンポストイン」など

住所、氏名、電話番号の記載をお願いいたします

編集後記

◆最近の高齢者の会話「コロナワクチンの接種終わりました?」もう1回目(2回目)終わったよ!」をよく耳にします。順調に接種が進んでいるようです。

◆イギリスからの情報では接種後の効果は「感染しない率が90%以上、例えば感染しても重症化しにくい」とも言われています。しかしワクチン接種の効果は絶対ではありません。今後とも、各自が自覚し従来通りの感染対策をしっかりとするのが大切です。

◆「まち協だより」を通じ弥生が丘の取り組み、情報を発信してゆきます。住民の皆様からもまち協に対しご意見ご要望等としどしお寄せください。双方からの情報交換で「明るく住みよい、安心・安全の弥生が丘づくり」をめざしましょう。

まち協だより編集委員 T N 記